

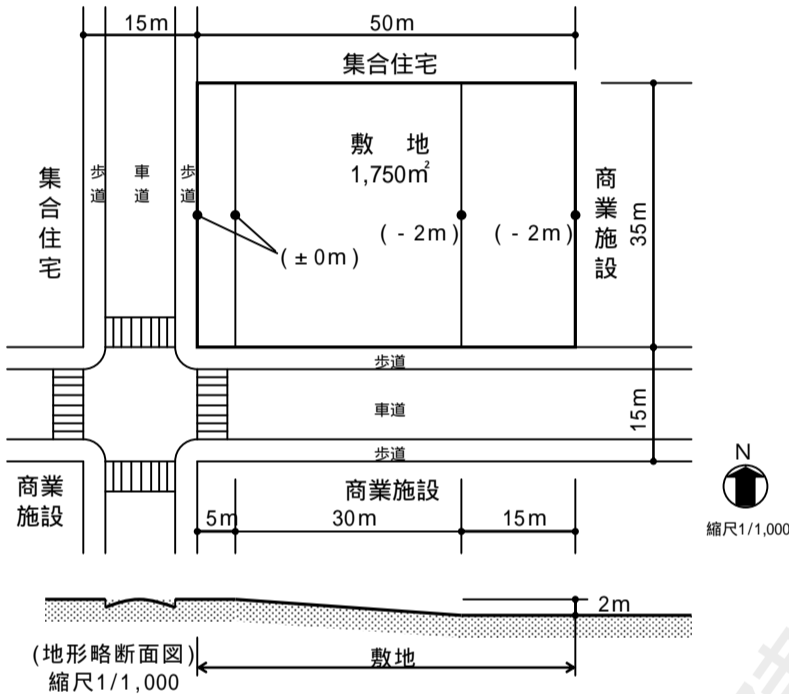
設計条件

この課題は、大都市近郊の市街地において、賃貸集合住宅を計画するものである。この施設には、診療所、店舗、広場(以下「プラザ」という)等を受け、市民が日常的に利用できる機能を併せもつものとする。計画に当たっては、特に次のことが求められている。

にぎわいのある魅力的な都市空間を演出できるように、敷地周辺に対して開放されたプラザを建築物と一体的に計画する。医療・店舗部門、住宅部門の異なる機能を適切にゾーニングした計画とするとともに、各部門の動線に配慮した計画とする。住戸については、採光、日照、通風等に配慮した計画とする。設計に当たっては、この設計条件によるものとし、駐車場法に関する規定については、考慮しなくてよいものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件及び周辺状況等は、下図のとおりである。北側 - 集合住宅がある。東側 - 商業施設がある。南側 - 道路(幅員15m)を挟んで、商業施設がある。西側 - 道路(幅員15m)を挟んで、集合住宅がある。
- (2) 敷地は、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- (3) 敷地は、第二種住居地域及び防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は80%(特定行政庁が指定した角地における加算等を含む)、容積率の限度は300%である。なお、日影についての特別の配慮はしなくてよい。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- (6) 地下水についての特別の配慮はしなくてよいものとする。
- (7) 気候は温暖で、積雪についての特別の配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- (1) ラーメン構造による鉄筋コンクリート造、地下1階、地上5階建の1棟の建築物とする。
- (2) この課題においての階の取り扱いは、敷地の±0mの部分に直近の階を地上1階とする。
- (3) 地下1階を含めた床面積の合計は、2,700m²以上、3,200m²以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ、ポーチ、塔屋、バルコニー、屋外階段、住宅部門の共用廊下(エレベーターホールを含む)、地下1階に設ける住宅部門の駐車場は、床面積に算入しないものとする。
- (4) 主要な階段及びスロープについては、次のとおりとする。階段は、幅を1.4m以上、けあげの寸法を16cm以下、踏面の寸法を30cm以上とする。スロープは、幅を1.5m以上、勾配を1/12以下とする。
- (5) 設備については、次のとおりとする。空気調和設備は、個別方式とする。エレベーター(機械室が不要なものとする)は、次のとおり設ける。イ. 医療・店舗部門用 - 乗用1基(ロープ式・13人乗、かごの床面積は2.09m²以上) ロ. 住宅部門用 - 乗用1基(ロープ式・トランク付き13人乗、かごの床面積は2.09m²以上)

3. その他の施設等

- (1) プラザは、次のとおり計画する。プラザは、地下1階レベルに設けるものとし、まとまったスペース(直径10mの円が1つ以上入るスペースとする)で250m²以上(ピロティの部分は算入しない)とする。プラザ内には、高低差を解消するために階段及びスロープを設けてよいものとし、道路から直接アプローチできるように計画する。植栽を計画し、ベンチ、テーブル等の屋外ファニチャー、その他を設置する。一部をコーヒーショップのカフェテラスとして利用できるようにする。
- (2) 自由通路(施設利用者専用の通路をいう)は、次のとおり計画する。地上1階レベルに設けるものとし、医療・店舗部門へアプローチするための通路(最小幅員を4mとし、ピロティ形式等で周囲に開放された快適な屋外空間)とする。ベンチ、テーブル等の屋外ファニチャーを設置する。
- (3) 医療・店舗部門用の駐車場は、平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、サービス用として3台分を設ける。なお、車いす使用者用の駐車場は、幅を3.5m以上とし、プラザ又は自由通路からの距離ができるだけ短くなる位置に設ける。また、居住者用の駐車場については、地下1階に設けるものとする。
- (4) 地下1階の駐車場へアプローチする車路は、幅員5.5m以上、傾斜部の縦断勾配1/6以下、梁下の高さ2.3m以上とする。

- (5) 駐輪場は、居住者用として24台分(1台当たり0.5m x 2m程度)を設ける。
- (6) 医療・店舗部門用のごみ置場(約4m²)、住宅部門用のごみ置場(約4m²)を設ける。
- (7) 敷地内の通路に設けるスロープは、幅を1.5m以上、勾配を1/15以下とする。
- (8) (1)~(7)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 所要室

下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	床面積	設置階	特記事項
医療・店舗部門	レディースクリニック及び各店舗は独立して管理・運営され、入口はそれぞれ専用にするものとする。プラザ及び自由通路との関係に配慮した計画とする。			
	レディースクリニック	計約150m²	地下1階又は地上1階	・女性専門の婦人科、婦人内科診療所とする。 ・診察室(約25m²)を設ける。 ・処置室(約15m²)を設ける。 ・レントゲン室(約20m²)を設ける。 ・受付事務室(約10m²)を設ける。 ・スタッフルーム(約15m²)を設ける。 ・待合ホール、便所を設ける。
	ブティック	約150m²		・洋服や小物を販売する。
	レストラン	約120m²		・厨房及び便所(従業員用)を設ける。
	中国茶専門店	約100m²		・茶葉や茶器を販売する。
	コーヒーショップ	約100m²	地下1階	・プラザのカフェテラスと一体的に運営できるように計画する。 ・厨房を設ける。
	エレベーターホール 便所	適宜 適宜	地下1階 及び 地上1階	・車いす使用者に対応した多機能な便所を併設する。
住宅部門	住戸(24戸)	1戸当たりの専用面積約80m²	地上2~5階	・室構成は3LDKとする。 ・各住戸にバルコニーを設ける。 ・間口6.5m以上とする。
	エントランスホール	適宜		・エレベーターホール、メールボックスを設ける。
	管理事務室	約15m²	地下1階又は地上1階	・エントランスホールに隣接させる。 ・受付カウンターを設ける。 ・管理人は通いとする。
	駐車場	適宜	地下1階	・居住者専用として、12台分を設ける。 ・2段昇降式駐車装置(1基当たり2台収納)とし、1基当たりの設置スペースは、幅2.5m x 奥行5.5m x 高さ3.6m、ビット深さ2.0m程度とする。 ・車路は、幅員5.5m以上とする。 ・駐車場の換気に配慮した計画とする。
	消火設備機械室	約20m²		

(注)上記の床面積の合計(適宜を除く)は、約2,575m²となる。

要求図面等

設計製図答案用紙の定められた枠内(寸法線は枠外でもよい)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)地上1階平面図兼配置図 1/200	建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)を記入する。室名等を記入する。パイプシャフトの位置を図示し、P Sと記入する。地上1階平面図は敷地の西側の配置図を兼ねるものとする。地下1階平面図は、敷地の東側(上記以外の部分)の配置図を兼ねるものとする。
(2)地下1階平面図兼配置図 1/200	平面図兼配置図には、次のものを図示する。イ.断面図の切断位置 ロ.建築物の出入口 ハ.ドライエリア(ある場合のみ) ニ.駐車場(台数及び出入口を明示する) ホ.駐輪場(台数を明示する) ヘ.ごみ置場 ト.通路・車路・植栽等 ±0mに対する地下1階及び地上1階の主要な部分のレベルを記入する。レディースクリニック、ブティック、レストラン、中国茶専門店、コーヒーショップ、各住戸の床面積を記入する。レディースクリニックには、診察室、処置室、レントゲン室、受付事務室、スタッフルーム、待合ホール、便所を図示する。住戸については、次のものを図示する。イ.代表的な住戸1戸の室内プラン ロ.各住戸の出入口、メーターボックス、P S ハ.各住戸の表示(住戸1、住戸2、.....) プラザには、面積及びカフェテラスの位置を記入し、植栽、屋外ファニチャー等を図示する。自由通路には、屋外ファニチャーを図示する。地上1階平面図には、下階の屋根(ある場合のみ)を図示する。基準階平面図には、下階の屋根を図示しなくてよい。吹抜けとなる部分(ある場合のみ)を図示する。
(3)基準階平面図(地上2~5階) 1/200	切断位置は、住戸及びプラザを含み、建築物の全体の立体構成(地下1階~地上5階)及び屋根形状がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。塔屋を除く西側前面道路からの建築物の高さ(平均GLは求めなくてよい)、階高、天井高、地上1階及び地下1階の床高、主要な室名を記入する。梁及びスラブの断面、並びに基礎を図示する。建築物の周囲の地盤面等を図示する。
(4)断面図 1/200	

2. 面積表

地下1階~地上5階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。